

令和元年度 第1回 大正高等学校学校運営協議会 議事録

◆ 日 時 令和元年7月3日（水） 15時30分～16時30分（於：校長室）

◆ 参加者

- 協議会委員 徳野 利幸氏、 小林 三洋氏、 小路 吉秀氏、 遠山 美和氏、
坂本 幸代氏、 黒上 晴夫氏（欠席）
- 大正高校 大西 俊猛（校長）、 中村 壽男（教頭）、 久保 勝也（事務長）、
野間 幹生（首席）、 渡邊 朗（総務担当）

◆ 議 事

1 開 会

2 校長挨拶

3 協議会委員・事務局員紹介

4 委員長・副委員長の選出

委 員 長：徳野 利幸氏 を選出

副委員長：小路 吉秀氏 を選出

5 協 議（○印：協議会委員の発言、*印：学校長及び事務局員の発言）

（1）「平成31年度（令和元年度）学校経営計画」（別紙）について

* 学校長より説明及び内容の確認

○ 防災教育を実践していくのは大変です。

○ 阪神淡路大震災の時、被災地の現場に出向いた経験があるが、現場の空気感は大変なものだった。生徒たちがボランティア体験をすることができればよくわかると思う。

* 防災については、まず身を守ること、その後で周囲の者を助けたり連帯しての行動となります。

○ 昨年の地震の時など、高校生の通学区域は広いので登校した生徒を安全に帰宅させるのは判断が難しいのではありませんか。

* バスが動き始めていることで道路の安全を判断しました。その後家庭との連絡が付いた生徒は順次帰宅させました。遠くから来ている生徒は電車が動き出すのを待って帰りましたが、保護者が迎えに来た者もいました。

○ 状況がもっと悪い場合に、生徒が多数残留しても大丈夫なのでしょうか。

* 水と食糧については、全生徒3日分の備蓄があります。

- * 休日など生徒が在宅の時間帯に災害が発生した場合に、緊急時に安否確認の確実な方法を検討しているが整えきれていない。昨年場合は、台風による停電で3日間電話が使えなかった。停電になると校内の設備・機器は使えないものが多い。

○ 昨年の場合、LINE だけが連絡がついた。

(2) 学校の現状と閉校（今年度末）に向けての取組みについて（別紙参照）

- * 学校長及び担当者より説明

(3) 意見交換

○ 体育祭や文化祭の準備で遅くなる生徒はいませんか。

- * 生徒たちは放課後のアルバイト中心の予定をたてている。帰宅後にすぐバイトに行き、バイトが終わってから夜に集まって応援団の練習という事がある。帰宅が遅くなり、朝起きられないという悪循環が生まれる。学業が疎かになると本末転倒なので注意を促している。

- * 6月の体育祭では、終了後の生徒アンケートで、「楽しかった」の回答が80%近くを占めた。雨天順延を2日間繰り返したことを考えると、生徒たちはモチベーションを切らさずよく頑張っていた。

- * 最後のクラス対抗リレーでは、出場選手全員でクラスの枠を超えて円陣を作り、意気を高める様な場面があった。学年の一体感が感じられた。

- * 人数は少ないが、運動部もしっかり活動している生徒がいる。

○ 開校直後で施設設備がまだ整っていなかった1期生としては羨ましい限り。人数は少なくても学校や先生方の支援もあり設備もそろっている。40年前は女子更衣室すらなかった。

○ 子どもの感想では、雨で延びたのが残念だったが体育祭は楽しかったようだ。本人が楽しめたなら何よりと感じている。また今年の文化祭委では演劇が中心であったように思う。趣向の違ったものも取り入れてほしいと思っている。

6 閉 会

(次回日程)

- ・ 第2回学校運営協議会：令和元年11月の中・下旬で調整
- ・ 第3回学校運営協議会：卒業式・閉校式が終わった3月上・中旬で調整